

く ない か と り じ ん じ ゃ  
区内の香取神社

江戸川区には、香取神社のほか、香取神社の祭神である経津主神ふ つ ぬ し の か みを祀る神社が14社あります。

『日本書紀』によれば、鹿島神宮の武甕槌神たけみかづちのかみとともに東国平定に功のあった武神でした。

利根川下流の千葉県香取市には、全国の香取神社の総本社である下総国一の宮しもうきのくにの香取神宮があり、源頼朝をはじめ多くの武将から崇敬されてきました。

『日本書紀』に「この神、今は東国楫取の地にあるなり」と記され、漁業や水運をつかさどる「楫取の神」かじとりといわれ、利根川・江戸川沿いに香取神宮の祭神を分霊した香取神社がたくさんあります。

中世、江戸川区域は、葛西氏がその所領を伊勢神宮に寄進した下総国「葛西御厨」かさいのみくりやの一部でした。初代の葛西清重きよしげは源頼朝はたあの旗揚げに加わった武将で、香取神宮を信奉していました。そのため葛西氏は代々香取神宮の造営役などの重責をはたしており、葛西氏が治めた江戸川区内の郷ごうも、この香取神宮の建替え費用を負担したことでしょう。

また、江戸川河口の長島と対岸の行徳ぎょうとくには関せきが設けられ、ここを通る船から徴収する関銭せきぜには、香取神宮の灯明料にあてられていました。



下総国一の宮 香取神宮の楼門



旧長島村の香取神社



旧東宇喜田村新田の香取神社



旧東宇喜田村雷の香取神社

## 江戸川区郷土資料室

## 村の鎮守としての香取神社

江戸時代の初めに新田開発で村ができると、新しい香取神社や天祖神社が建てられました。東宇喜田村の<sup>ひがしうきた</sup>雷<sup>いかずち</sup>と新田<sup>しんでん</sup>の香取神社は、慶安2年(1649)高野山無量寿院<sup>しょうちあじゃり</sup>の<sup>かんじょう</sup>邵値阿闍梨が、村民の頼みにより村の東西の境に下総の香取神を勧請し創立したと伝えられています。

また江戸時代中期には、西小松川村鎮守の香取神社<sup>ままい</sup>(間々井の宮)は、<sup>ごぜんしよ</sup>將軍鷹狩りの際の御膳所になりました。さらに小松川境川を挟んだ東小松川村鎮守の香取神社(上社)には、「葛西囃子之碑」があり、<sup>かなまち</sup>金町の葛西神社(旧香取大明神)発祥の葛西囃子の伝統を、今に伝えています。



旧西小松川村の香取神社の拝殿



旧東小松川村の香取神社の祭礼

## 江戸川区内の香取神社など「経津主神」を祀る神社

香取神社	江戸川3-44	旧上今井村の鎮守。永禄10年(1567)創建、円照寺が別当。十一面観音を奉安。
香取神社	西一之江3-35	鎌倉時代に藤ヶ谷氏祖先が創建と伝う。万治2年(1659)再建。
香取神社	中央4-5	旧西小松川村の鎮守。通称「間々井の宮」。元和3年(1617)銘の神鏡あり。
香取神社	東葛西1-45	旧下今井村の鎮守。通称「境の宮」。創建不詳。宝永年間の祠あり。
香取神社	東葛西2-34	旧長島村の鎮守。創建不詳(「延喜式神明帳」の茂呂神社か)自性院が別当だった。
香取神社	中葛西5-36	旧東宇喜田村新田の鎮守。新田開拓に際し、慶安2年(1649)創立。正応寺が別当。
香取神社	東葛西4-38	旧東宇喜田村雷鎮守。慶安2年(1649)創立。天保7年(1836)真蔵院の所管に際し、隣に移動。
香取神社	中央4-25	旧東小松川村の鎮守。通称「上社」。建治3年(1277)創建。「葛西囃子之碑」。
二之江神社	江戸川6-44	旧二之江村鎮守。旧香取神社。創建不詳。昭和42年(1967)に八幡神社を合社し改称。
小松川神社	小松川3-4	荒川放水路開削により、昭和12年(1937)創建。天祖・香取の二神を勧請。
<sup>おきのみや</sup> 興之宮神社	興宮町18-26	旧興之宮村の鎮守。「東の宮」。天祖・香取・鹿島の三神を祀る。
豊田神社	東瑞江2-5	旧下鎌田村の鎮守。天祖・香取の二神を祀る。創建は不詳。
天祖神社	西小岩2-2	旧上一色村鎮守。天祖・香取・鹿島の「三社明神」。江戸期の裸参りの絵あり
天祖神社	北小岩7-28	天正年間創立と伝う。文政10年(1827)再建。天祖ほか香取等四神を合殿に祀る。

参考文献：『東京都神社名鑑』東京都神社庁 昭和61年(1986)刊、『江戸川区史』第3巻

## 江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階  
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)